

スミフェート粒剤の登録内容変更についてのお願い

●わが国において、原則として全ての農薬に、順次、急性暴露評価がされることとなり、スミフェート剤（アセフェート剤）は登録縮小の申請をしました。

●急性暴露評価は、現在登録されている使用方法で想定される最大の農薬残留が認められる作物を、たとえ通常より多く摂取した場合でも、健康に影響を与えないよう農薬の安全性を一層担保するために導入されるものです。

●このため、生産者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録予定内容にてご使用いただきますようお願いいたします。

農薬登録の削除作物について

スミフェート粒剤では、
下表①の農薬登録作物を削除する申請をしました。
下表①の作物ではスミフェート粒剤の使用をしないでください。

■表① スミフェート粒剤（登録番号 第 21904 号）
平成 26 年 7 月 10 日 農薬登録申請内容（作物削除）

作物名	登録削除の内容
ミニトマト	作物を削除

農薬登録されている使用方法の変更作物について

キャベツ・はくさい・ブロッコリー・だいこん・かぶ・きゅうり・トマト・なす・みずな・ばれいしょ

スミフェート粒剤では、下表②の農薬登録の変更の申請をしました。

今後は、下表②の使用方法のとおりスミフェート粒剤を使用してください。

但し、申請内容は今後変更になる可能性がありますのでご了承ください。

■表② スミフェート粒剤（登録番号 第 21904 号） 平成 26 年 7 月 10 日 農薬登録申請内容（変更作物は網掛け部分、変更は赤字部分）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ コナガ ヨトウムシ	3～6 kg/10 a (1 株当たり 1～2 g)	定植時	1 回	植穴処理	2 回以内 (定植時までの処理は 1 回以内、定植後は 1 回以内)
はくさい	アブラムシ類					
ブロッコリー	ヨトウムシ	6 kg/10 a (1 株当たり 2 g)			株元散布	1 回
だいこん	アオムシ コナガ アブラムシ類	3～4 kg/10 a	は種前	1 回	は種前作条散布	
かぶ	アブラムシ類	4 kg/10 a	収穫 21 日前まで		株元散布	1 回
なばな	アブラムシ類	6 kg/10 a (1 株当たり 2 g)	定植時	1 回	定植時土壌混和処理	1 回
きゅうり	オンシツコナジラミ アブラムシ類 アザミウマ類	3～6 kg /10 a (1 株当たり 1～2 g)	定植時	1 回	作条散布又は 植穴処理	1 回
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ					
なす	アブラムシ類 オンシツコナジラミ アザミウマ類					
ごぼう	アブラムシ類	3～6 kg /10 a	収穫 75 日前まで	1 回	株元散布	2 回以内 (株元散布は 1 回以内、散布は 1 回以内)
みずな		6 kg/10 a	定植時		定植時作条散布後土壌混和	1 回
ばれいしょ	アブラムシ類	3～6 kg/10 a	植付時	1 回	作条散布	3 回以内 (植付時の処理は 1 回以内、植付後は 2 回以内)
こまつな	アブラムシ類		は種前		は種前作条散布後土壌混和	
チンゲンサイ			定植時		定植時作条散布後土壌混和	1 回
たばこ	ヨトウムシ アブラムシ類	3～6 kg/10 a	移植前	1 回	作条散布後土壌混和	2 回以内
きく	アブラムシ類 アザミウマ類 マメハモグリバエ	6～9 kg/10 a				
ばら	アブラムシ類					
トルコギキョウ	アザミウマ類	1 株当たり 1～2 g			株元散布	5 回以内
ゆり	アブラムシ類					
りんどう	アザミウマ類	1 株当たり 2 g				
つつじ類	ツツジゲンバイ					
芝	スジキリヨトウ シバツトガ タマナヤガ	10kg/10 a 5～10kg/10 a			全面散布	